

鉄道ピクトリアル

2010年8月号増刊 Vol.60 No.8 通巻No.837

<特集> 阪急電鉄

■表 紙 京都線特急車9300系 焼田 健
正雀車庫 2010-2

■カラ一

Traditional maroon (1~8・166~168ページ)
有終の特急車6300 (165ページ)
阪急の相互直通運転 (169ページ)
阪急電車70's (170~171ページ) 小林 武・浜村正弘・下嶋一浩
昭和39年の阪急電車沿線案内 (172ページ) 坂戸 直和

■グラフ

絵葉書で回顧する阪急電鉄の昔 白土 貞夫 81
阪急電車あの日あの頃
同志社大学鉄道同好会クローバー会員の思い出 86
西宮北口の平面交差 中島雅彦・山田 亮 92
阪急梅田駅の今昔 構成:編集部 94
阪急電鉄 思い出の情景 構成:編集部 173
阪急神戸線 追想 高田 寛 178
1970年前後の千里線 構成:編集部 180
能勢電鉄 往年の風景 構成:編集部 182
戦後の京阪間を疾走した京都線特急電車 構成:編集部 184

■本文

今月の話題:阪急電鉄 編集部 9
総説:阪急電鉄 ①阪急電鉄株都市交通事業本部都市交通計画部 10
阪急電鉄の鉄道事業を語る 若林常夫・今城光英 18
営業設備とサービス 阪急電鉄株都市交通事業本部運輸部 25
駅、乗務区のあらまし 阪急電鉄株都市交通事業本部運輸部 29
輸送と運転 近年の動向 阪急電鉄株都市交通事業本部運輸部 33
車両総説 阪急電鉄株都市交通事業本部技術部 50
正雀工場の概要 阪急電鉄株都市交通事業本部技術部 56
車庫の概要 阪急電鉄株都市交通事業本部技術部 60
線路と保線 阪急電鉄株都市交通事業本部技術部 64
信号保安設備、運行管理システムの概要 阪急電鉄株都市交通事業本部技術部 68
電力設備の概要 阪急電鉄株都市交通事業本部技術部 72
通信設備の概要 阪急電鉄株都市交通事業本部技術部 75
淡路駅周辺連続立体交差事業の概要 阪急電鉄株都市交通事業本部技術部 78
能勢電鉄の現況 能勢電鉄株総務部総務人事課 97
阪急電鉄のダイヤ作成を担って 角南 幸男 102
阪急電鉄での半世紀 山口 益生 108
阪急電鉄とともに
—神戸線運輸課一筋 倉内正義氏の阪急時代— 125
往年の阪急の駅と沿線 高山 禮藏 134
阪急京都線回想 河 昭一郎 144
阪急の運行標識板あれこれ 成瀬 伸夫 150
関東の鉄道ファンから見た阪急電鉄の魅力 杉山 直哉 158
1960~70年代の神宝線 車両保守の思い出 杉本 光昭 189
京都線特急車両の記録 藤井 信夫 193
阪急電鉄 列車運転の興味 湯川 徹二 202
阪急電鉄全線歩き乗り記 根本 幸男 214
阪急電車一音と色 中山 嘉彦 222
阪急電鉄 現有車両プロフィール2010 篠原 丞 233
車両履歴表 作成: 篠原 丞 資料提供: 阪急電鉄(株) 280
現有車両編成表 作成: 篠原 丞 資料提供: 阪急電鉄(株) 312
現有車両主要諸元表 作成: 篠原 丞 資料提供: 阪急電鉄(株) 318
後部車から 327

ISSN0040-4047
Tetsudō pikutoriaru



カット:松本一雄

阪急電鉄

阪急電鉄は大阪・梅田から神戸・三宮に至る神戸線、同じく梅田から宝塚に至る宝塚線、京都・河原町と梅田を結ぶ京都線の3線を基幹とした140.8km(第2種線を除く)の路線を京阪神圏に展開する大手民鉄である。3線が結集する大阪・梅田駅は一日平均約56万人(2008年)の乗降客を有する民鉄界屈指のターミナルであり、その偉容は古くから知られている。歴史的には1910(明治43)年3月10日に箕面有馬電気軌道による梅田→宝塚間24.9kmと箕面線石橋→箕面間4.0kmの営業開業が阪急の始まりであり、今年(2010年)、開業100周年を迎えた。

社会状況の変化などにより、多くの大手民鉄において事業環境が厳しさを増す中、阪急電鉄も同様に、1991(平成3)年度をピークとして輸送人員は減少を続けている。しかし、近年は減少率が小幅になりつつあり、2008年度は618,585千人となつた。本社事務所は大阪市北区芝田1丁目16番1号、従業員数は1,638人(2009年7月1日現在)である。

阪急電鉄は2005(平成17)年に持株会社として阪急ホールディングスに移行、阪急電鉄は同社の中核企業として事業を遂行する形態となり、さらに2006(平成18)年に阪神電気鉄道が経営統合し、阪急阪神ホールディングスが発足し現在に至っている。今年開業100周年となった阪急電鉄では、多彩な記念事業が行われている。また、京都線では、CO₂排出量を実質的にゼロにした日本初の「カーボン・ニュートラル・ステーション」摂津市駅が新設され話題となっている。淡路駅周辺の連続立体化工事にも着手しており、梅田周辺や西宮北口の大規模プロジェクトの展開とともに、次の100年に向けて、阪急のいっそうの飛躍に期待したい。

TETSUDŌ TOSHO KANKOKAI
Oak Ochanomizu Bldg., Kanda Ogawamachi 3-8 Chiyodaku, Tokyo/Japan

今月の話題